



田中愛治総長 揮毫

令和6年  
10月1日発行

◆ 第25号

◆ 編集発行  
我孫子稲門会

## 6年度総会は来賓もお招きし、5年ぶりに完全開催

# 気軽に参加できる交流の場を

会長 大谷光弘

(昭46 商)



5年ぶりに制限なく自由に交流できた6月の総会において、会長に選任されました大谷と申します。10年以上の校友会代議員の任期終了を控えてお役御免と考えていましたが、この度は思いもよらず我孫子稲門会の会長という大役を仰せつかり、重責に身震いする思いであります。継続的な会員数減少という大きな課題を食い止め、会の継続

さらには発展を目指して、微力ではございますが全力を尽くしてまいりますので、会員の皆様の絶大なるご協力をお願いする次第です。

記録によりますと、2000年の設立時に112名だった会員数は、2007年に283名と僅か7年で2・5倍以上に増加しました。しかしながら、翌年からはほぼ毎年減少を続け2024年には140名と最大時の半分以下に減少しています。

この原因は高齢化やご逝去による退会、校友会のような任意団体への加入意識の変化さらにはコロナ禍での同好会を初めとする会合の制限などで集まる機会の減少などが挙げられます。この継続的な減少を何とか歯止めを掛けたいのです。

具体的には月並みではあります。具体的には月並みではありませんが、まずは既存同好会活動の活性化や新規分野の追加

により、多くの会員の皆様が気楽に参加できる会場の増強を図りたいと考えています。手始めにワセオケ(早稲田交響楽団)などレベルの高いアマチュアオーケストラの演奏や能楽などをご家族と一緒に楽しむ芸術を愛好する会(仮称)の設立を検討中です。次に総会で重点施策として提案しご賛同いただいたホームページの開設です。パソコンだけでなくスマホからも簡単に閲覧や投稿を可能にして会員相互の情報共有と交流活性化を図り、更に非会員の市内居住校友への窓口として働きかけを強化し、会員数の増強を計って参ります。

上記にあげた活動が効果を上げるためには、会員の皆様の積極的な参加が必須であることは言うまでもありません。何卒ご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

# 令和6年度総会報告

令和6年度我孫子稲門会定期総会は、6月22日(土)午後1時からイトーヨーカドー我孫子南口店3階、アビイホールで開催した。

## 第一部 総会

会員のみで開催した第一部

の総会には44名が出席。白戸章雄会長が議長を務め、3件の議案を審議した。  
議案1、令和5年度事業報告、収支決算、監査報告では、コロナ禍による3年間の自粛期間を経て、同好会をはじめ、様々な活動の再開が報告され

た。議案2令和6年度事業計画、収支予算では、会員相互の情報共有と市内校友への情報発信の強化を目的に、重点事業としてホームページの整備とそのための予算計上が提案された。(決算、予算は左表、ホームページ事業の概要は次頁)。

会長が退任され、新会長に副会長の大谷光弘氏を、海老原美宣幹事長に代わり新幹事長には、吉田哲氏を選任する案が提案された。(役員一覧は次頁)。以上3件の議案については、すべて異議なく承認された。

## 第二部 公開講演会

第二部の市民公開講演会に

は、会員に加え、5年ぶりにお迎えした大学や近隣稲門会の来賓12名、市民53名の計109名が参加。  
当会監査役で弁護士の木野綾子氏が講師となり、「元裁判官の弁護士による『高齢者の財産管理』」を演題に講演会を行った。  
(講演会の内容は、5面に掲載)

## 令和5年度収支決算

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収入	金額	支出	金額
年会費	378,000	会員募集費用	1,092
		総会開催費用	261,749
総会会費	138000	新年会費用	179748
		企画事業費	-
新年会会費	152000	会報発行費	13,355
		部会補助	10,000
企画事業会費	-	支部活動費	18,000
		交際費	111,394
祝い金	-	通信費	41,871
		事務費	60
受取利息等	8	会議費	10,770
		交通費	1316
		事務用消耗品費	2,629
		寄付金	50,000
合計	668,008	合計	701,984
前年度繰越金	678,126	特別勘定繰入(30周年記念事業)	50,000
収入合計	1,346,134	次年度繰越金	594,150

## 令和6年度収支予算

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

収入	金額	支出	金額
年会費	378,000	会員募集費用	-
		総会開催費用	380,000
総会会費	315,000	新年会費用	190,000
		企画事業費	30,000
新年会会費	175,000	会報発行費	20,000
		部会補助	20,000
企画事業会費	30,000	支部活動費	38,000
		交際費	120,000
祝い金	100,000	通信費	45,000
		事務費	5,000
支部補助金	-	会議費	15,000
		交通費	10,000
受取利息	8	事務用消耗品費	10,000
		寄付金	50,000
		ホームページ作成費用	250,000
合計	98,008	合計	1,183,000
前年度繰越金	594,150	特別勘定繰入(30周年記念事業)	50,000
収入合計	1,592,158	支出合計	1,233,000
		次年度繰越金	359,158

### ◆令和6年度役員

役職	氏名	卒年・学部
会長	大谷 光弘	S46年商
副会長	村上 智雅子	S43年文研
〃	山本 弘之	S51年商
幹事長	吉田 哲	S59年理工
副幹事長	松本 善夫	S53年政経
〃	海老原 美宣	S53年法
〃	関 俊彦	H11年教育
幹事	田中 由紀	S41年教育
〃	浜崎 慶子	S43年文
〃	小田金 由太郎	S45年商
〃	西 久男	S50年政経
〃	木野 吉晴	H4年理工院
〃	野口 英利	H6年法
監査役	滝日 明	S33年政経
〃	木野 綾子	H6年政経
顧問	日吉 照輔	S35年商
〃	大塚 紀年	S38年商
〃	実松 靖之	S38年政経
〃	白戸 章雄	S40年政経
相談役	山口 宏	S37年政経
〃	渡邊 俊一	S37年法
〃	河野 喜明	S39年法
〃	小池 進一郎	S40年政経
〃	高谷 一之	S40年商
〃	横須賀 晃	S46年政経

### 第二部 懇親会

懇親会は、大谷光弘新会長との挨拶、そしてご来賓の早稲田大学千葉地域担当課長鈴木努氏、早稲田大学校友会千葉県支部副支部長で流山稲門会会長高橋孝志氏からのご挨拶の後、会員で能楽師の深津紘氏(昭42法)が謡曲「高砂」を披露し会場の雰囲気を一気に盛り上げ、瀧日明監査役の

乾杯の音頭でスタートした。

今年度は5年ぶりにビュッフェ形式で開催したことから、各テーブルを囲み歓談の輪が広がった。

最後は、吉田哲新幹事長の指揮のもと参加者全員で「都の西北」を熱唱、盛況のうちに会を終了した。



令和6年度の目玉事業として我孫子稲門会ホームページ(以下HP)を立ち上げることとなりました。

これは、個人に情報・更新が集中してHPの継続が困難となった周辺稲門会HPの反省を踏まえて、会員皆様の協力をもって維持継続できる形を整える事でHPの充実を目的としたものであります。

また、HPを通して新規会員の増加を目指すものであります。

さる8月25日に専門業者とキックオフミーティングをおこなったところ、新規会員の増加、会員交流の活性化の



為には、現会員の皆様の一層の交流の活性化とそれをHPに反映させていたたくお手伝いが必須であります。(具体的には、同好会毎にバナーを立ち上げ、こまめな更新をお願い致すこととなるかと思えます。)

また、外部検索エンジンからのアクセスを増やして、交流の輪を広げていく事も模索中です。

一例として、匿名を前提に

A表 学部・卒業年度 B表 卒業年度・業界 C表 学部・業界 のマトリックスを作成、維持管理していくことにより、交流の輪を広げ一助とする事も考えておりますので皆様には、紙ベースでアンケートにご協力願うこととなるかと思えます。

これをもって市内在住・早稲田OB OGの枠を少し緩めて、早稲田大学・我孫子市に関心を持っていただいている方々との交流の輪を広げていく一助となればと考えるところであります。

# 足ルヲ知ルモノハ富ナリ

## 前会長 白戸章雄 (昭40政経)



我孫子稲門会は、活動実績の面で県下でも有数の稲門会です。私は令和2年の6月にコロナ禍の中で、書面議決という異例の方法で会長に選任されました。その後もコロナ禍は収束せず、令和4年、5年は総会こそ開催したものの、一定のブレーキをかけたざるを得ませんでした。今年は春の六大学野球で、早稲田が慶應に圧勝し、勝ち点5で完全優勝を遂げ、6月の総会では今までの就縛から解放され、「都の西北」を高らかに歌うことができ、溜飲が下がったと思います。

一番の心残り、は、会員数の減少に歯止めがかからないという事です。令和5年には50歳代、60歳代の市内在住の校友300名の方々に入会を呼びかけました。数名の方々が応じてくれましたが、今後も万策を駆使して働きかけをしていただきたいと存じます。

◇ ◇ ◇  
70年近く前の、私が中学1年の頃はなしです。ヒマを持って余っていた悪ガキが7、8人で、どこかへ遊びに行くうかという話になり、話し合いの結果、成田の宗吾霊堂に行くことで衆議一決。霊堂に着き、ひと通り遊んだあと、みんなでおみくじを引きました。幸か不幸か、私は「吉」を引き当て、67歳まで生きるとありました。仲間の一人は「凶」を引いてしまい、37

歳までしか生きられないとありました。それからがたいへん。秋の夕陽を背に、彼はすっかり肩を落とし、悄然としてしまいました。帰りの電車の中でもしよんぼりです。

モノ忘れはあるものの、夕方には酒を楽しんでいます。「凶」を引き当てた彼は、私以上に元気で、野良仕事に精を出し、すっかり日焼けした顔に目を輝かせています。

立ち上げ、これを運転していくことによって、会員の皆様の益々の交流の発展、新会員の獲得等を目指していく節目になればと考えております。

# 土地に根差した交流の深化を

## 幹事長 吉田哲 (昭59理工)



彼も私もこれで十分。「富ナリ」です。

土地に根差した情報、直接会って会話することで理解する情報量は、無意識ですが膨大なものがあり、私達の判断や意思決定に大きく影響するものです。

今年度幹事長に推挙されました吉田哲です。昭和59年理工学部建築学科卒です。去る6月の総会でもお話しさせて頂きましたが、厄年というのは役年のことという説があり、“年齢的に順番だよ”という思召しかと微力ながらお受けすることと致し

ました。引き続き会員皆様殊に、前役員の方々のご協力を仰ぎ神輿の上の飾りのレベルではありますが、宜しくお願ひ致します。

ここに、我が我孫子稲門会をはじめとする地区稲門会の組織としての意義があるものと考えています。



# 我孫子稲門会25周年記念講演会

## 「高齢者の財産管理」を聴いて

村上智雅子(昭43文研)

時折小雨のバラつく梅雨の半ば、平成6年6月22日に我孫子稲門会25周年記念・公開講演会が、いつものイトーヨーカドーアビエホールで開かれました。講師は当会監査役の木野綾子さん。木野さんは平成6年早稲田大学政治経済学部卒業後、平成9年には裁判官として任官。民事、

刑事事件などを担当後、平成

22年には弁護士となり活躍され、本年の春には第一東京弁護士会の副会長となられた才媛です。講師の経歴がNHKの人気の朝ドラ「虎に翼」のモデルで日本女性初の弁護士となった三淵嘉子に相似たところがあるため、また題目の「高齢者の財産管理」という差し迫った身近なテーマのためもあり、年配の女性の方が多く参加され、109名の盛況となりました。

木野さんは、ゆっくりと滑舌の良い聞きやすい声で、準備万端整った映像を駆使され、具体的に財産管理の留意点について話されました。(写真上)例えば高齢者の判断力低下を利用した不当な勧誘や契約(振込詐欺、デイト商法、霊

感商法、不必要な大量販売等)

を列挙しながら、契約をしてしまった場合にもそれを取り消す方法、また家族として気を付ける

ことなどに至るまで懇切丁寧

に説明されました。また、やがて関わらなければならぬ相続税や終活への対策、エンディングノートや

遺言書の作成、成年後見制度、任意後見制度とはどういうもの

のかなど、ご自身の弁護士生活の現場で対面した様々な経験を活かした内容は納得する

ところ多く、来場者も熱心に耳を傾けていました。

終了後、何人かの方から、幾つかの感想が届きました。

「大変役に立った講演で、出席して良かったと思います。

木野さんのお話のペースも声のトーンも聞きやすくよく分かりました」とか「遺産相続の控除額が3000万プラス一人800万円ということ

初めて認識しました」等々。

これから高齢化に向けて病気や認知症などの不安を抱える私たちは、まだまだ人生百年といわれる時代を生き抜かなければなりません。今回の木野さんの講演会で得た示唆や知識をお互いの体験のうち

に生きる知恵に変え、「各自のレジリエンス(復元力・生き抜く力)を信じて、前向きに希望をもって年を重ねたいものです。」

◇ ◇ ◇

講演後は、今年は予算の関係もあり、コロナ禍前には行われていた余興も福引もない簡素な懇親会となりました。それでも深津紘氏の途中退席のお詫びにという謡曲「高砂」(長寿を寿ぎ、平安な世を愛でる)も披露され、「はな膳」の料理が並んだ各テーブルでは屈託のない歓談の輪が広がり、和気藹々と有意義なひとときを過ごしました。

本年度は、4年間会長を務められた白戸章雄氏から大谷光弘氏にバトンが渡され、50代の木野綾子さんの講演も好評で頼もしく、ささやか

ながら25周年記念に相応しい集いとなりました。ふと「早稲田の栄光」の「重ね来し歴史尊く、承け継ぎて輝く早稲田」の歌詞の一部が胸に迫ってきました。

### 【木野綾子氏略歴】



平成6年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、平成9年に裁判官として任官。東京、土浦、豊橋、千葉の各裁判所に赴任。平成22年に千葉地方裁判所を最後に退官し、弁護士登録(第一東京弁護士会)。平成28年に「法律事務所キノール東京」を開設し、現在は弁護士7名体制となる。得意分野は相続、労働事件(経営、不動産関係等)。令和6年度は、第一東京弁護士会の副会長及び日本弁護士連合会の常務理事を務めている。我孫子市白山在住。

# 4年ぶりに女子会を開催

## 平林清江(平19文・科目履修)

▼開催日 令和5年11月24日(金)午前11時30分～午後2時

▼会場 ランコントル

▼参加者 片倉みつ子・佐々木節子・佐藤厚子・田中由紀・浜崎慶子・村上智雅子・平林清江 (7名)

▼特別参加者 山本弘之・海老原美宣 (2名)

▼議題 ・参加者の自己紹介

・早稲田大学の現状

・学生の支援(大学グッズを買って学生を支援しよう)

・我孫子稲門会会員数の推移

▼資料 「令和5年度稲門会女子会参加者・特別参加者名簿」

「早稲田大学グッズのパンフレット」

「我孫子稲門会の会員数の推移(現在の女子会員は13名)」

「支部だより」(早稲田大学校友会千葉県支部 第15号)

▼まとめ 女子会については、新型コロナウイルス流行のため開催できず、ここ3年間の空白(前回は令和元年開催)を余儀なくされたが、5年度は無事開催の運びとなった。

そこで、今回初めての試みとして、海老原氏・山本氏のお二人に特別参加をお願いし、有意義なお話を拝聴することが出来た。また、工夫を凝らした資料や、大学グッズの現物も用意して頂いた。

ランチは、例年通りランコントルさん心づくしのお料理であったが、無言で食さねばならず、これは残念なことであった。

食後は、コーヒーとお菓子を頂きながらのフリートークで、マスクを付けなおしてのお話会となったが、大変な盛り上がりを見せた。

まだまだ、マスクと縁の切れない、コロナの余波はあるものの、楽しい会合となった。令和6年度も無事開催が叶い、会員個々の親睦をより深められるように心期しての閉会となった。

皆さまのご協力誠に有り難うございました。

写真は右列手前から村上智雅子、浜崎慶子、片倉みつ子、佐藤厚子、山本弘之、左列手前から田中由紀、佐々木節子、平林清江



## 同好会に参加しませんか

現在、我孫子稲門会には以下の同好会があり活発に活動しています。連絡先は次のとおりです。気軽にお問合せください。

**ゴルフ会**  
  
 杉本勝則  
 ☎090-7837-1918

**食べ歩きの会**  
  
 大塚紀年  
 ☎090-1661-9689

**早稲田スポーツを応援する会**  
  
 実松靖之  
 ☎080-3383-3401

**囲碁会**  
  
 高橋 実  
 ☎04-7184-8288

**カラオケ会**  
  
 永田堅志郎  
 ☎090-5587-3560

**麻雀会**  
  
 大塚紀年  
 ☎090-1661-9689  
 高橋 実  
 ☎04-7184-8288

**史跡巡り同好会**  
  
 田中由紀  
 ☎090-2667-2924

**女子会**  
  
 村上智雅子  
 ☎090-5333-2855

# 令和6年度千葉県稲門祭報告

副会長 山本弘之（昭51商）

令和6年6月  
30日 千葉県稲門祭が東京ベイ幕張ホールで開催されました。第一部は

小澤隆生氏（前ヤフー株式会社代表取締役社長）の講演。演題は「事業成功のポイント」楽天イーグルス、PayPay 立ち上げから考える成功のポイント」でした。

大学卒業後インターネットに賭け起業せざるを得なかった理由、楽天がプロ野球参入の年、戦績はリーグ6位にもかかわらず、興行成績が1位であった理由等すべてが明快で説得力があり、参加者も前のめりで聞いていました。同氏は母校で学生に企業立上げの指導もされているとのこと。今後ますます早稲田から起業家が増えると思えます。

第二部は支部長、校友会代表の挨拶に引き続き田中愛治総長の挨拶。（写真上）大学を



どのように変えていくか熱く語っていただき、頼もしい限りでした。熊谷千葉県知事も多忙の中駆けつけていただきました。（写真下）

最後は応援団指揮のもと、「早稲田の栄光」「早稲田大学校歌」を全員で斉唱し、エールを高らかに送り、お開きとなりました。

今回の開催はこれまでの秋開催ではなく6月の開催となったこと、各稲門会は自分たちの総会開催で忙しかったこと等の理由で例年より参加者が若干少なかったのが残念でした。当我孫子稲門会からは8名の参加で少し寂しかったです。来年は大勢で参加をいたしましょう。

## 地区別校友数・会員数・地区委員一覽

地区	校友	会員	地区委員	地区	校友	会員	地区委員	
布佐・布佐西町・都	20	3	鮑田浩一、山本弘之	白山2丁目	19	0	大田行雄 佐藤信樹	
布佐平和台1丁目	6	0		白山3丁目	25	3		
布佐平和台2～7丁目	26	7		船戸	28	4		
南新木	8	1	小嶋豊	台田	27	3	小田金由太郎 河野喜明、大塚紀年	
新木・新木野	28	0		久寺家	30	7		
下ヶ戸	10	0		つくし野1丁目	23	1		
古戸・中里	11	0	海老原美宣	つくし野2丁目	19	0	大塚紀年 高谷一之	
日秀	6	2		つくし野3丁目	48	7		
中峠	22	3		つくし野4丁目	7	0		
中峠台	6	1	北見正賢、大類裕久	つくし野5丁目	19	6	池原正道	
都部・岡発戸	8	1		つくし野6丁目	24	2		
湖北台1～5丁目	33	3		つくし野7丁目	18	4		
湖北台6～10丁目	32	4	遠藤正彦	並木	35	6	吉田治實	
栄	22	4		我孫子1～4丁目	109	10		
泉	30	4		我孫子（上記以外）	2	0		
天王台	61	6	大谷光弘	根戸	32	0	池原正道	
東我孫子	27	6		青山	4	0		
高野山	31	3		佐々木宏三	青山台	56		9
若松	36	5	西久男、村上智雅子	南青山	4	0	池原正道	
寿	44	8		滝日明	柴崎台	26		5
本町	5	0		渡邊俊一	柴崎	3		1
緑	19	1	野口英利	市外（東京、松戸、柏）		5	池原正道	
白山1丁目	32	5		合計	1,081	140		

「校友」は令和6年4月8日現在の早稲田大学校友会登録者

「会員」は令和6年4月1日現在の我孫子稲門会登録者

### 我孫子稲門会会員名簿

令和6年4月1日現在 140名

【布佐】 岩田 信二 小山 和則 白戸 章雄	北見 正賢 小島 秀夫 斎藤 公誉 諏訪 睦人 瀬賀 正澄	吉田 富雄 【高野山】 佐々木 宏三 濱田 良光 松本 善夫	須藤 英華 野口 英利 日吉 照輔 【船戸】 大槻 延広 岡田 正宏 佐藤 晶英 長南 利彦	高橋 実 友野 海也 富山 稔 野中 憲 松本 守正 三浦 健司 山口 和親 山口 宏 吉田 幸徳	片淵 雅章 佐藤 信樹 埴 和彦 【青山台】 有年 義隆 伊藤 碩 岩淵 雅孝 木村 匡男 永田 堅志郎 縄野 光孝 細田 均 諸井 清次 吉田 治實				
【布佐平和台】 飽田 浩一 江畑 哲男 遠藤 博 篠崎 喜男 竹田 志帆 永田 裕二郎 増山 義也	【栄】 遠藤 正彦 小倉 正己 後藤 和徳 根本 陽一	【若松】 佐々木 徹 柴橋 宏昭 西 久男 深津 紘 村上 智雅子	【久寺家】 榎本 康夫 小田金 由太郎 黒河内 尚 小池 忠彦 保々 和宏 宗岡 恒雄 渡邊 明	【並木】 高谷 一之 澤部 肇 瀧澤 道明 長谷 景治 東野 方之 平林 清江	【柴崎台】 小笹 彰男 加藤 高一 土屋 徳郎 中村 政人 松村 信明				
【南新木】 吉田 哲	小池 進一郎 実松 靖之	【寿】 片野 泰栄 瀧日 明 徳永 和秋 中村 暢彦 野川 拡至 野見山 俊明 古屋 雅弘 本橋 洋一	【つくし野】 鮎川 麗子 梅田 寛幸 大塚 紀年 岡 宏 加茂 隆 蒲生 邦道 河野 喜明 河野 美香 小松 庸信 小森 芳明 佐々木 節子	【我孫子】 池原 正道 大森 俊幸 北垣 武久 五島 敏夫 菅野 重樹 菅森 毅士 関 俊彦 並木 康洋 西野 公一 深井 義雄	【磯貝】 磯貝 桓 【市外】 近堂 邦夫 武井 勲 西川 将巳 浜崎 慶子 山本 弘之				
【中峠】 海老原 美宣 染谷 一夫 田中 由紀	【天王台】 小笠原 博幸 尾崎 久照 佐藤 厚子 古屋 博 横須賀 晃 吉広 誠一	【緑】 渡邊 俊一	【白山】 大田 行雄 木野 綾子 木野 吉晴 黒井 榮治郎 近藤 廣	【湖北台】 大類 裕久 岡本 和男	【東我孫子】 石川 正和 及川 力哉 大谷 光弘 杉本 勝則 藤田 光宏	【日秀】 小嶋 豊 小嶋 靖子	【中峠台】 片倉 みつ子	【都部】 香取 典男	【台田】

**我孫子稲門会事務局**  
幹事長 吉田 哲

〒270-1119  
我孫子市南新木1-14-6  
☎ 090-9809-3291

コロナ禍前の日常をほぼ取り戻した昨今です。

コロナ禍前の交流に戻すのではなく、さらに発展させていく事が、今年度の使命と考えています。そのために

- 1 「運転できる」ホームページの立ち上げ。
- 2 同好会活動の活性化。
- 3 垣根を低くして、どんどん新しいネットワークを作る。

を目指していく端緒として、会報をお届けします。

当該会報に限らず我孫子稲門会のあらゆる事柄に対して皆様のご意見をお寄せ下さい。

編集後記